番号	２４	県別	鳥取	事業場所	智頭宿地内
実施団体等	Preserve（プリザーブ）智頭宿			代表者	木田　いずみ
事　業　名	智頭宿の伝統的町並み活用事業				
事業目的	智頭宿では江戸時代に因幡街道の宿場町として栄え、現在でも格子のある町家が軒を連ねる風情ある町並みが残っている。しかし近年、都市部への人口の流出や世代交代が進むなど、空き家や駐車場が増え、智頭宿の風情ある町並みが失われてしまう。そこで、智頭宿の良さや現状を知ってもらい、古い建物を残す大切さを伝えるための活動を行う。また、単に残す負の遺産ではなく、地域の活性化に繋がるような活用案を提案・実行していく。				
事業概要	①智頭宿の調査とパネル作成・展示 智頭宿内の格子の現地調査を行い、パネルを作成して、２月の智頭宿雪祭りの時に無料の休憩所を開き、そこに展示した。 ②町並み整備 道路側が窓ガラスになっている住宅の窓に格子を設置することで、古き良き町並みの良さを視覚的に実感してもらうことや、伝統的木造建物の建築の技術を守った。				
事業効果	①智頭宿の調査とパネル作成・展示 智頭宿の格子の価値を再確認できた。又、それを展示することで智頭宿の格子を知ってもらうことが出来た。 ②町並み整備 格子の家は備前街道沿いにあり、近くには国登録有形文化財の米原家や塩屋出店などがあるが、その通りがより風情ある町並みになった。				
活動状況	 格子設置後	 展示パネル設置			